



## I'mPOSSIBLE とは

### 国際パラリンピック委員会公認教材“ I'mPOSSIBLE ”

国際パラリンピック委員会 (IPC) 公認教材 “I'mPOSSIBLE” は、世界各国の子どもたちに学校教育を通じてパラリンピックの魅力を伝えることを目的として開発されました。教材の名前 “I'mPOSSIBLE” には、「不可能 (Impossible) だと思えたことも、考え方を変えたり、少し工夫したりすればできるようになる (I'm possible)」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージが込められています。

本教材は、テーマごとに小学生版は各 45 分、中高生版は各 50 分の授業を行えるように構成されています。パラリンピックの歴史や競技を紹介したり、パラリンピックの価値を伝えたりすることで、知識を得ながら興味が自然と湧いてくる内容です。授業案は教室で行う座学と、競技を体験する実技があります。

### 体験に取り組む意義

パラリンピックスポーツを体験したことがある教師は少なく、授業で取り扱うことに不安や懸念があるかもしれません。しかし、競技を体験することで、ルールや競技を理解するだけでなく、体験をきっかけとして、以下のような気づきにつなげるという教育効果があります。

(教育効果の例)

- ・スポーツ体験を通して障害について考えるきっかけとなったり、知識を得たりする機会となる。
- ・障害のある人は特別な人、助けられるべき人という認識を覆し、障害がない人と同じように可能性をもつ人だという発想の転換につなげることができる。
- ・他の人との違いを受け入れ、個性を尊重しあえる関係を築くことの重要性に気づくことができる。
- ・パラリンピックスポーツを体験することで、的確な指示を出したり、相手の立場に立って物事を考えたりすることの大切さを学ぶ。その結果、お互いに助け合うことの大切さを学んだり、さりげなく手助けができるようになったり、困っている友達がいる時、どうすればいいのか一緒に考える気持ちを育んだりするきっかけとなる。
- ・パラリンピックスポーツを体験することで、その魅力をより身近に感じることができる。
- ・パラリンピックスポーツの規則について学び、活動に参加するのが難しい人たちが参加できるようになる工夫を学ぶきっかけとすることができる。

#### ●本教材における〈障害〉の表記について

近年、「障害」の表記における「害」という漢字表記について、さまざまな意見をふまえて「障がい」とひらがなで表記することが増えています。本教材でもこうした動向を理解していますが、読み上げソフトを使用した教材の閲覧での利便性等を総合的に判断した結果、「障害」という漢字表記を使用しています。











## I'mPOSSIBLE の使い方①

### 本教材の構成

本教材は、パラリンピックの知識が無い方でも、手軽にパラリンピック教育に取り組んでいただけることを目指し、指導案、参考資料・映像教材など、授業に必要なものをパッケージにしてお届けしています。詳細は以下をご覧ください。

構成物	仕様	内容
<b>教師用ハンドブック (本冊子)</b> 	A4	“I'mPOSSIBLE”の概要と、パラリンピックに関する基礎的な情報をまとめた資料です。 授業等を始められる前にご一読いただき、開始後も授業を行う上での参考資料としてご活用ください。
<b>教師用指導案</b> 	A4	各授業の進め方を記載した資料です。 授業の目的、1時限での展開の仕方、準備物や他の資料への参照先などをまとめています。 ここでご紹介する展開の仕方はあくまで例となりますので、クラスの状況や児童・生徒数に応じて、複数時限かけて展開するなど、適宜アレンジしていただいて構いません。
<b>教師用授業ガイド</b> 	A4	「授業用シート」の補足情報がまとまった教師用の資料です。 「授業用シート」の各ページで伝えたいポイント、補足情報、児童・生徒への声かけ例などが記載されています。
<b>授業用シート</b> 	PDF データ または A3	授業の際、教室で児童・生徒に見せる資料で、スライドのデータと印刷した紙芝居形式のものがあります。 スライドのデータは、教室のモニターやスクリーンに投影して使用できます。投影が難しい場合には、紙芝居形式のものを使用してください。 すべての内容を網羅する必要はなく、児童・生徒の興味や関心に応じて、説明する順番を変えたり、内容を割愛したりなど自由にお使いください。
<b>児童・生徒用ワークシート</b> 	A4 または A3	授業で児童・生徒が使用するワークシートです。 座学や実技を通しての感想を書き込んだり、宿題や家庭学習に利用したりできるようになっています。
<b>資料 DVD</b> 	2 枚組	本プログラムの教材データと映像資料が入った DVD です。 <b>【教材データ】</b> 上記資料の PDF データが入っています。追加で資料を印刷される際などにご活用ください。 <b>【映像資料】</b> 授業で使用するパラリンピックや競技の映像、また教師が実技の進め方を確認できる映像が収録されています。授業の前にご覧いただくことをお勧めします。



## 今回お届けする授業案

本教材は、[1：パラリンピックの価値]と[2：パラリンピックスポーツ]という大きく二つのテーマに沿って構成されています。それぞれのテーマごとに、複数の授業用の教材を、2020年までに順次開発していきます。授業は単独で行っても組み合わせ使っても、またどの順番で行っていただいても構いません。

### テーマ1：パラリンピックの価値

授業 No.	タイトル	概要・目的	小学校高学年 各授業45分 (1時限)設定	中学生・高校生 各授業50分 (1時限)設定
1-1	パラリンピックって なんだろう?	パラリンピックの特徴や発展について学びながら興味関心を深め、パラリンピックについての導入とする。	2017年度 配布済	2018年度 配布
1-2	パラリンピアン 香西選手って どんな人だろう?	車いすバスケットボールの香西選手の活躍とそこに至るまでの様子を知ること、パラリンピックの価値である「勇気」「強い意志」について考える。	2018年度 配布	2019年度 配布予定
1-3	公平について 考えてみよう!	誰もが分け隔てなく一緒に楽しむための様々な工夫を考えることで、パラリンピックの価値である「公平」について、具体的に理解する。	2018年度 配布	2019年度 配布予定
1-4	パラリンピックについて 学習したことを 振り返ってみよう!	パラリンピックにインスピレーションを受けたことで、もっと調べたい、考えたいと思えるように、今までの学習を振り返る。	2018年度 配布	2019年度 配布予定

### テーマ2：パラリンピックスポーツ

2-1	パラリンピックスポーツ について学ぼう!	様々な競技やその魅力について学び、パラリンピックを身近に感じるだけでなく、応援したい、もっと調べたいという気持ちを醸成する。	2017年度 配布済	2018年度 配布
2-2	シットリングバレーを やってみよう!	座ったままでも楽しめるように工夫された競技の体験を通して、「できることを最大限に活かして、目的を達成できるように工夫することの大切さ」について考える機会を作る。	2017年度 配布済	2018年度 配布
2-3	ゴールボールを やってみよう!	視覚に障害がある人が球技を楽しむように工夫された競技の体験を通して、「普段とは異なる感覚を研ぎ澄まして目的を達成する面白さや、相手の立場に立ったコミュニケーションの大切さ」について考える機会を作る。	2017年度 配布済	2018年度 配布
2-4	ボッチャを やってみよう!	誰もが楽しめ、集中力、投球技術、戦略性、チームワークなどが必要な競技を体験することで、1人1人の特徴を理解し、認め合うことを学ぶ。	2018年度 配布	2019年度 配布予定
2-5	ガイドランナーを 体験しよう!	ガイドランナーを体験し、その責任の重さを感じることで、コミュニケーションや信頼し合うことの大切さを学ぶ。	2018年度 配布	2019年度 配布予定

\*今後順次お届けしていく教材に合わせて、本頁は更新されます。

